産業労働局長の海外出張について

1　出張者・出張先

産業労働局長 坂本 雅彦

オーストラリア（シドニー、ニューカッスル、ケンジントン、ケンブラ）

2　出張期間

令和６年２月４日（日曜日）から令和６年２月８日（木曜日）まで（３泊５日）

3　出張目的

グリーン水素等の製造及び日本への輸出等に向けて積極的に施策を推進するニューサウスウェールズ州を訪問し、州政府との MOU を締結することで連携を強化するとともに、現地の最新動向や知見を収集し国際サプライチェーン構築・技術開発等に向けた施策検討につなげるための現地調査及び意見交換を実施する。

4　経費

3,550,328 円

5　同行者数

２名

6　出張の日程

２月４日（日）

〇移動日（出発日）

２月５日（月）

〇豪州の水素関連機器（燃料電池・水素貯蔵システム）事業者との意見交換

〇日豪経済委員会主催の東京都・NSW 州友好 40 周年記念イベントに参加

２月６日（火）

〇ニューカッスル港の現地視察

〇ニューカッスルエネルギー資源研究所の現地視察

〇ニューサウスウェールズ州政府との MOU 締結及び意見交換

〇ニューサウスウェールズ州内で水素関連事業を行う日本企業との意見交換

２月７日（水）

〇ニューサウスウェールズ大学エンジンラボの現地視察

〇ケンブラ港の現地視察

〇ジェトロ・シドニー事務所との意見交換

〇オーストラリア貿易投資促進庁との意見交換

２月８日（木）
○移動日（帰国日）

7　出張の成果

○ニューサウスウェールズ州政府との水素エネルギーの社会実装化に係る MOU を締結し、今後、この MOU をきっかけに具体的なプロジェクトを実施していくことで合意した。

○ニューカッスル港では、石炭の輸出港がグリーン水素の製造から輸出までを行う水素ハブへとシフトしていく壮大な計画について現地視察を交えて説明を受け、エネルギーの転換に向けた動きが様々な場所で起きていることを確認するとともに、意見交換を実施することができた。

○ニューカッスルエネルギー資源研究所では、水素エネルギーなどに関する技術開発及び研究について研究所内での設備見学を踏まえながら説明を受け、今後の州との連携に資する知見を得た。

○ケンブラ港では、グリーン水素製造プロジェクトやパイプラインでの輸送、トラック用の水素ステーション運営等が実施・計画されている旨を現地での施設見学を交えて説明を受け、港湾での産業等での水素利用の先進的な事例として確認し、知見を得た。

○ジェトロ・シドニー事務所やオーストラリア貿易投資促進庁との意見交換では、豪州の連邦政府及び各州政府の施策概要や最近の方向性、日本企業の豪州内での取組、日本市場の重要性、水素産業発展に向けた課題等について、詳細な情報提供・説明を受け、知見を得るとともに意見交換を行った。

○豪州企業やニューサウスウェールズ大学エンジンラボとの意見交換では、日本では開発されていない技術・であり、国際サプライチェーン構築や技術開発、水素需要拡大に向けた取組の先進事例としての知見を得るとともに、意見交換を実施した

○ニューサウスウェールズ州内で水素関連事業を行う日本企業とは、現地プロジェクトの進捗や豪州企業等との連携について詳細な情報提供を受けるとともに意見交換を行い、今後の都施策に資する知見を得た。

○日豪経済委員会【注】主催の東京都・NSW 州友好 40 周年記念イベントに出席し、同委員会に所属する企業関係者等に向けて、都の気候変動や水素エネルギー、再生可能エネルギー等に関する先進的取組について紹介。都の取組を広く発信するなど、東京への理解を深めていただく機会とした。

【注】日本とオーストラリア両国経済界の相互理解と協力の促進を通じて経済関係を発展させることを目的に 1963 年に設立された、最も歴史のある二国間経済委員会のひとつ。

【お問合せ先】
産業労働局産業・エネルギー政策部新エネルギー推進課
電話　０３－５３８８－３４２１